

插花百瓶圖式

上

79
3728
1



あり一葉たりは枚奇者むあはれん家の信
あはれん前を神神境好いよりんあし
是はのちのちよ事やまをのちのちの
くもさけらるるはりしは種ありん小遠候技業
たがやうに親能いこうえんあはれん月形と
もらにたはれ候はるるはりしを世に傳り
この事にはあらんし家より如日庵の人
多事ある心はましく門第都部匡操り

はるるいふあり事りよるるをまを今あはれ
かひてその秀ありしはあらまのちのちのち
ちりこみ画に書以て示すのちのちのち
世乃らたはるかありまはるるあはれんあはれ
木村ありしは城のちのちのちのちのちのち
鳴海世師ありしはあはれんあはれんあはれん
予を徳ありしはあはれんあはれんあはれん
あはれんあはれんあはれんあはれんあはれん



白梅

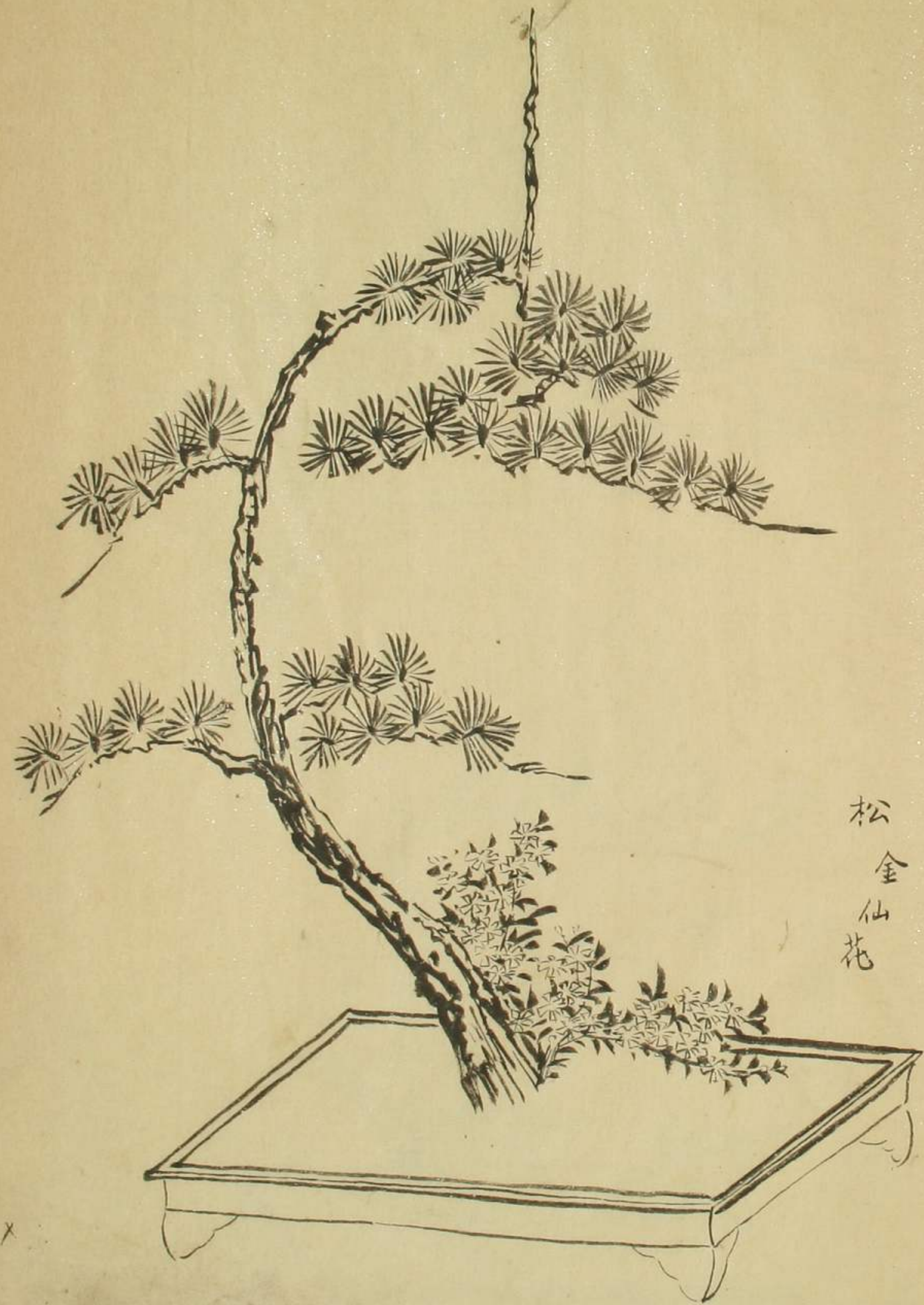
花は心喜^{おこ}し
 梅は心喜^{おこ}し
 大紅^{だいこう}の
 花は心喜^{おこ}し
 梅は心喜^{おこ}し
 大紅^{だいこう}の
 花は心喜^{おこ}し
 梅は心喜^{おこ}し

文化二年 乙卯年 東都僧徒作者

立川淡洲樓主人

張其升の印





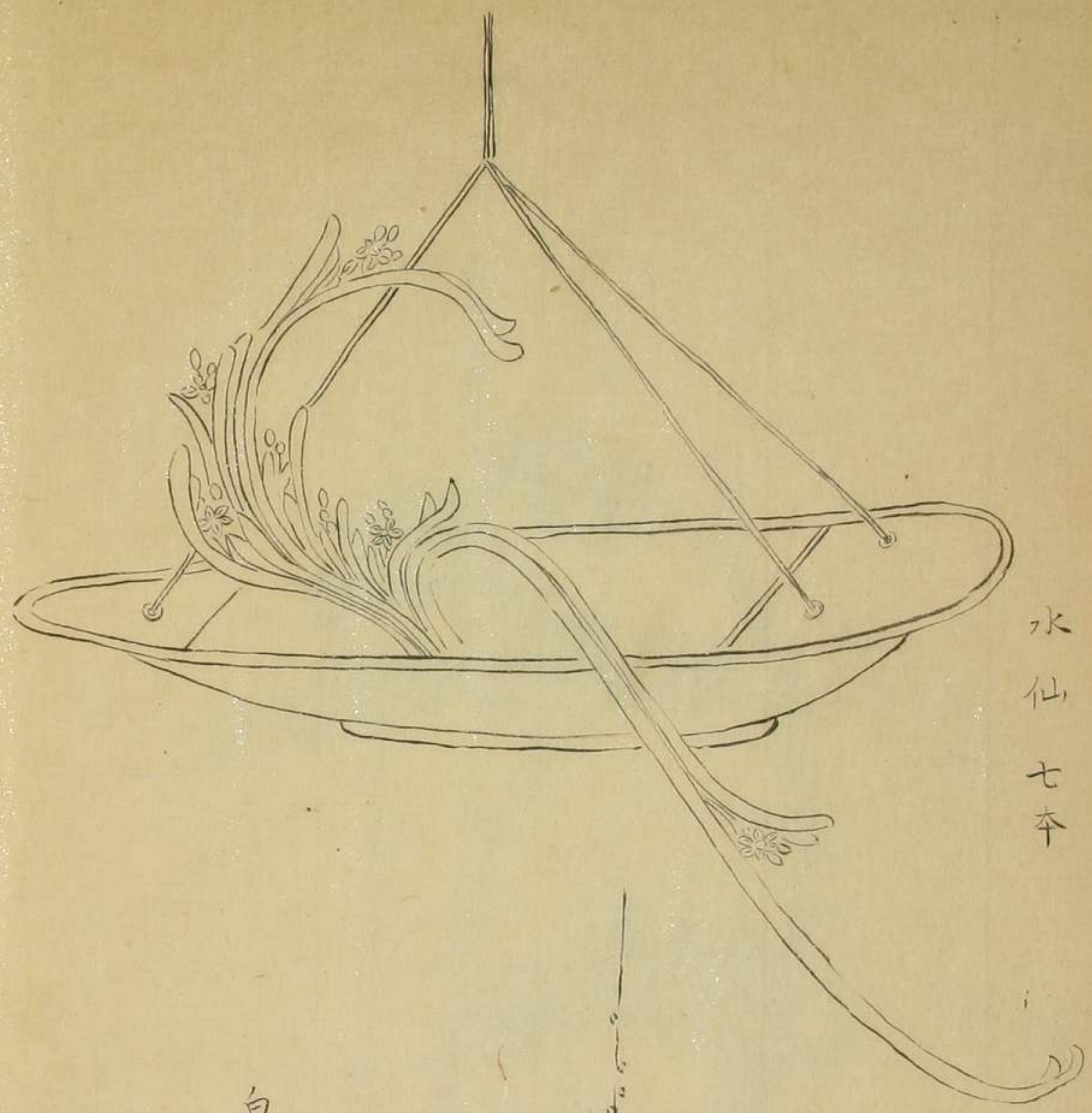
松
金
仙
花



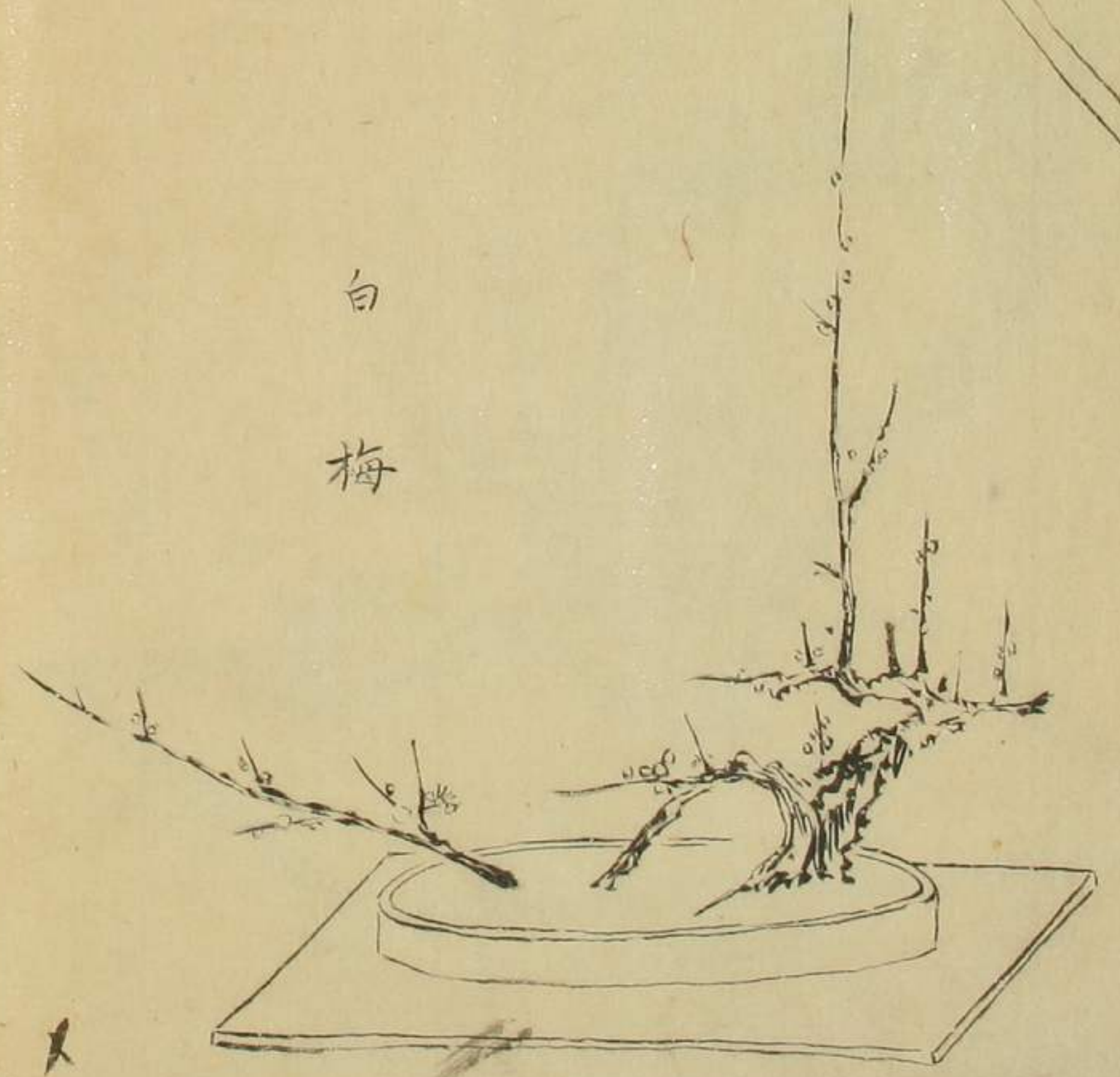
薄
紅
梅



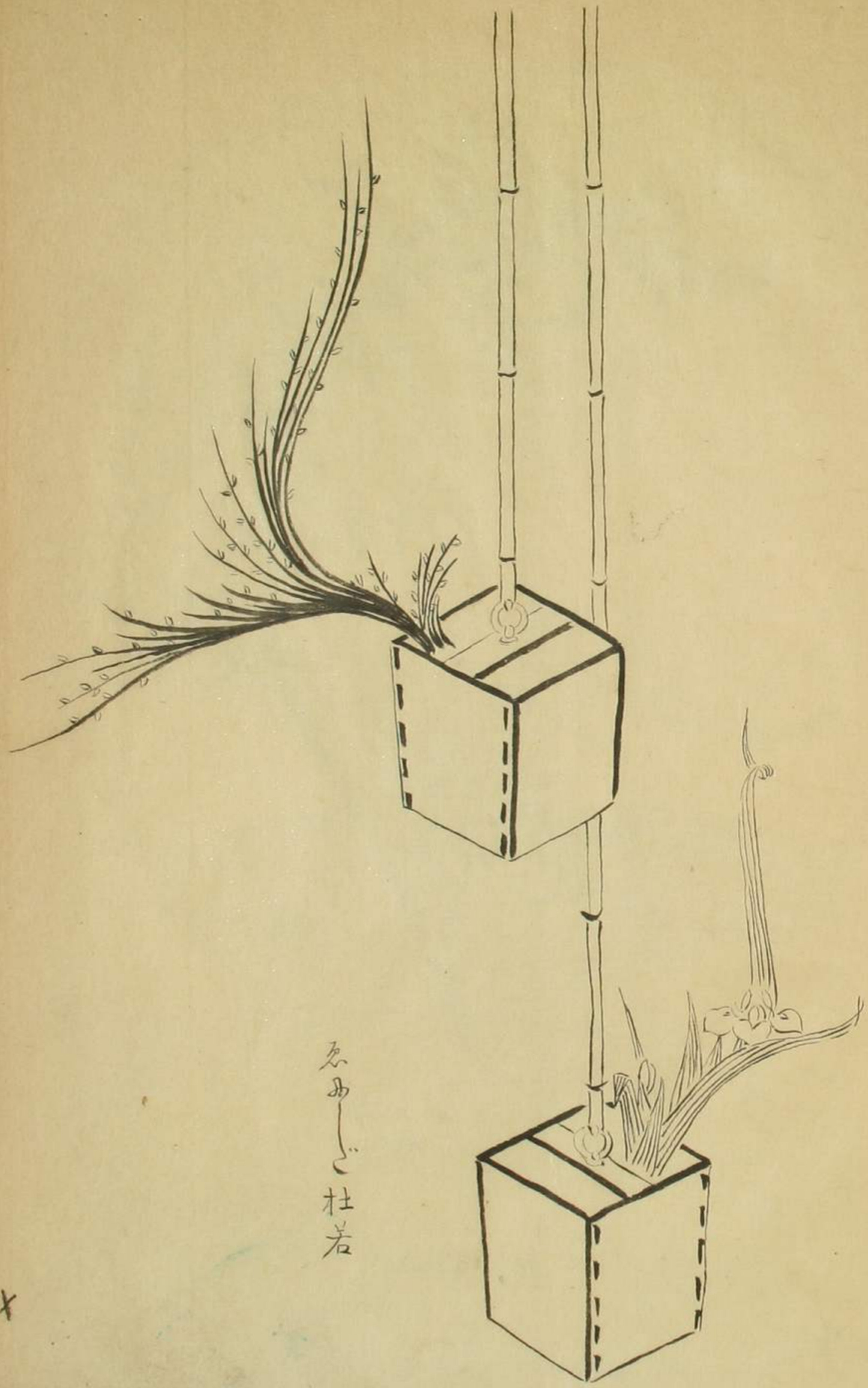
野桃ノ花



水仙七本

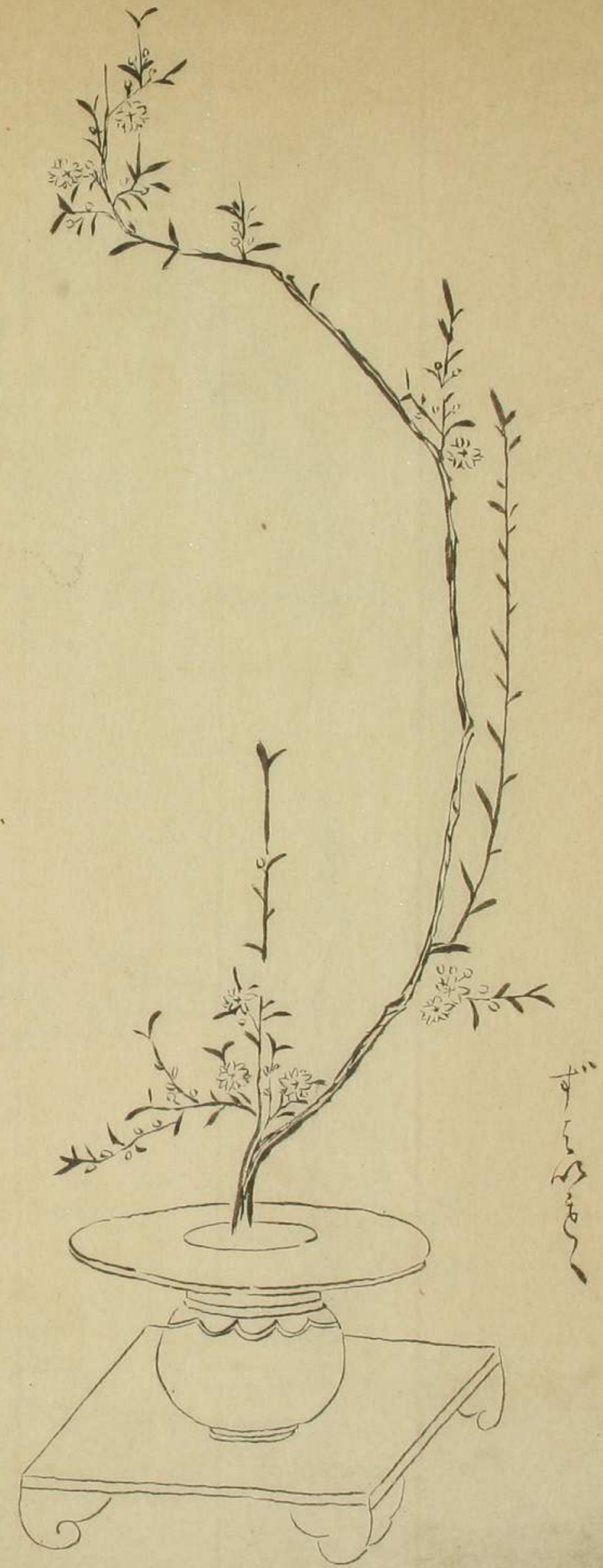


白梅



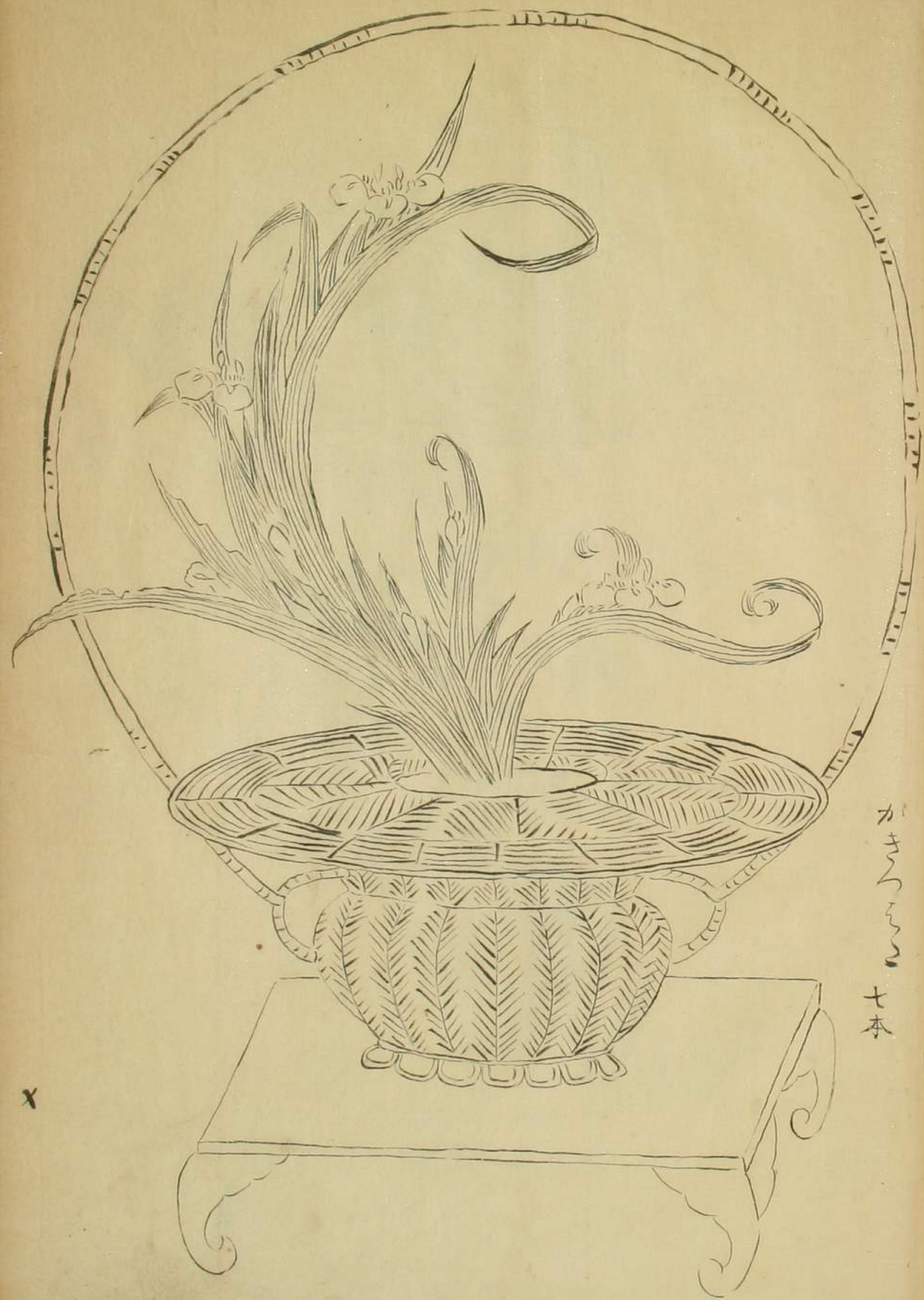
石杜
石

x



石

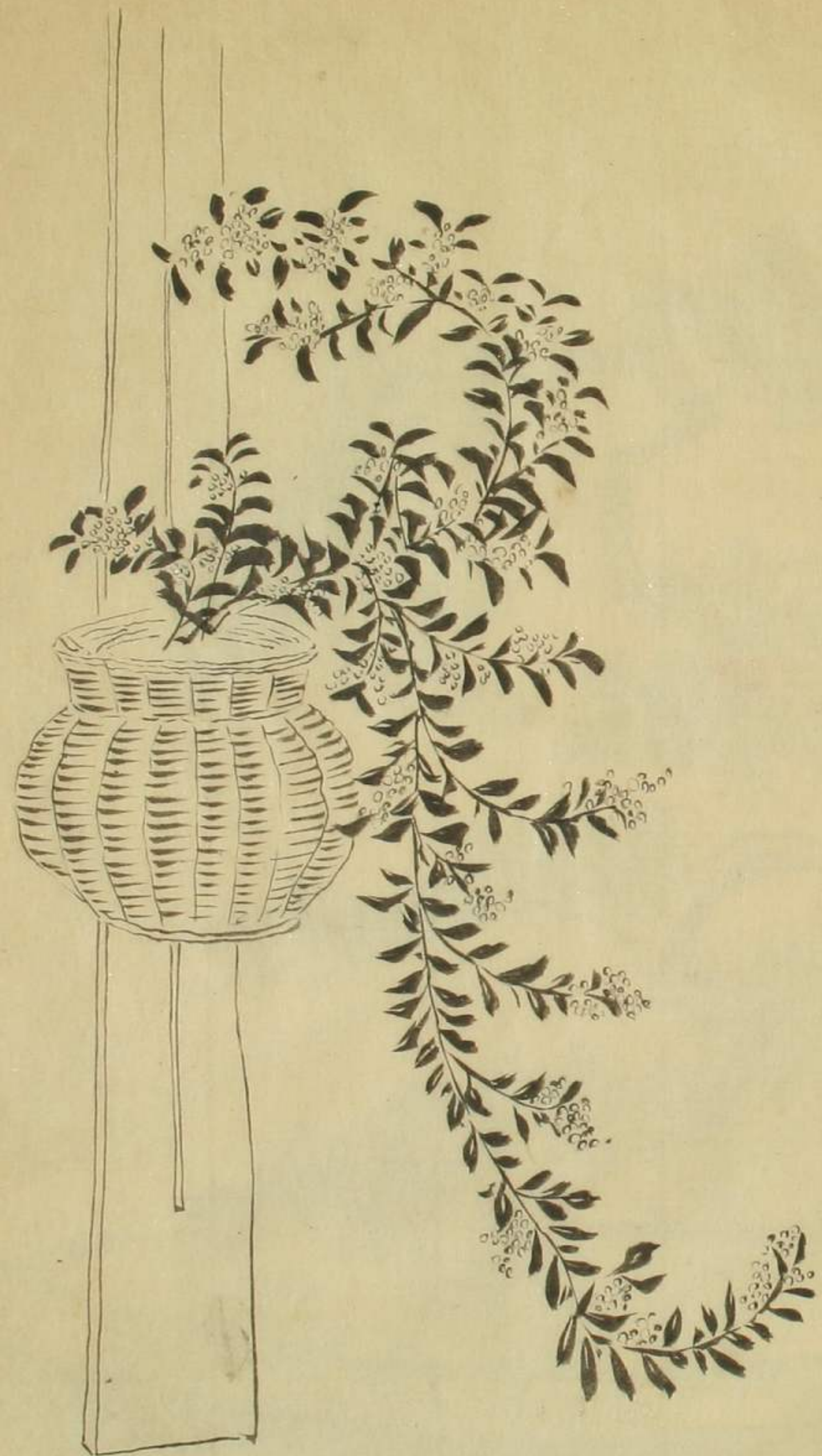
x



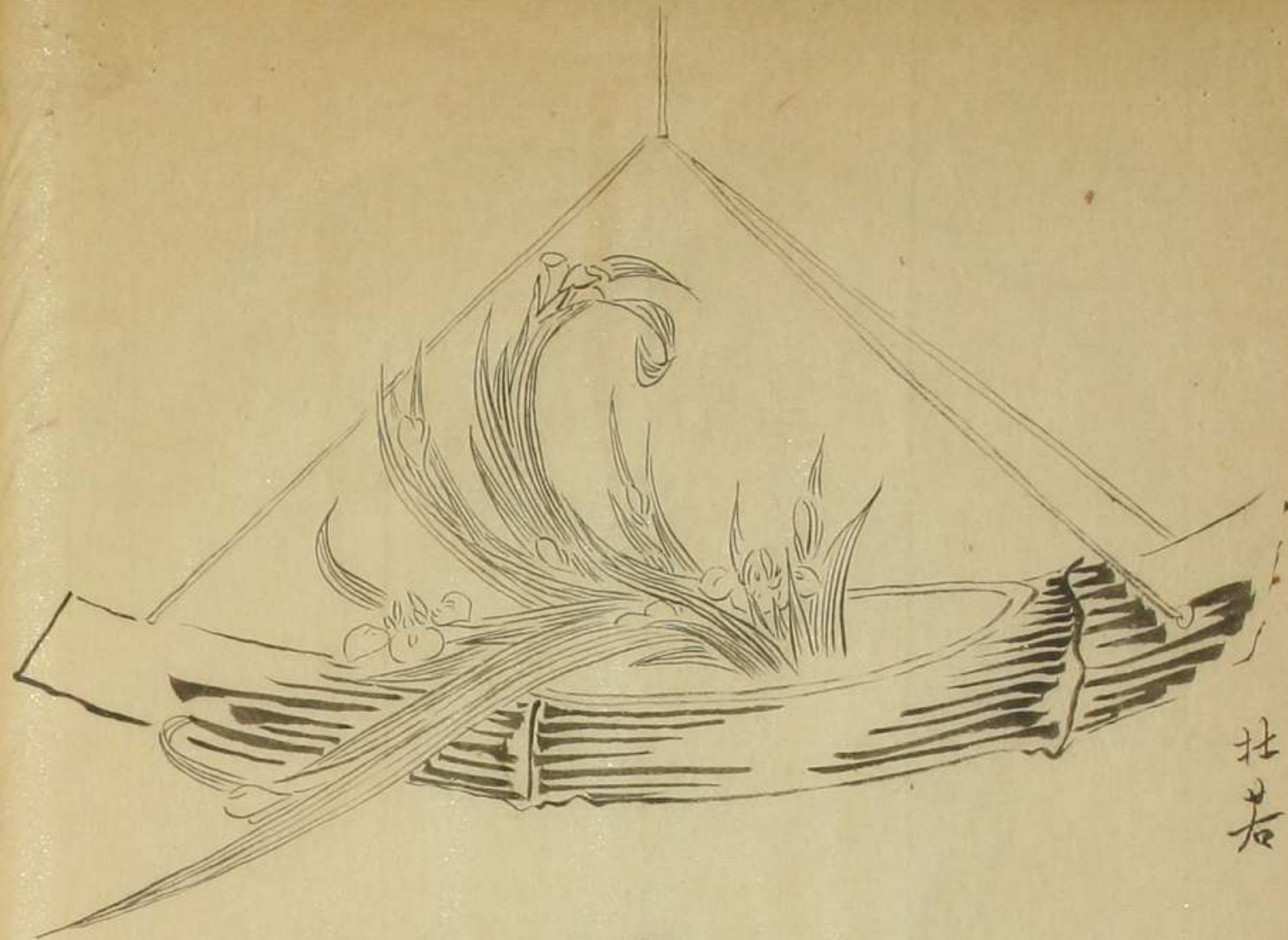
かきつばた
七本



白躑躅



くわいすいぎ



牡丹

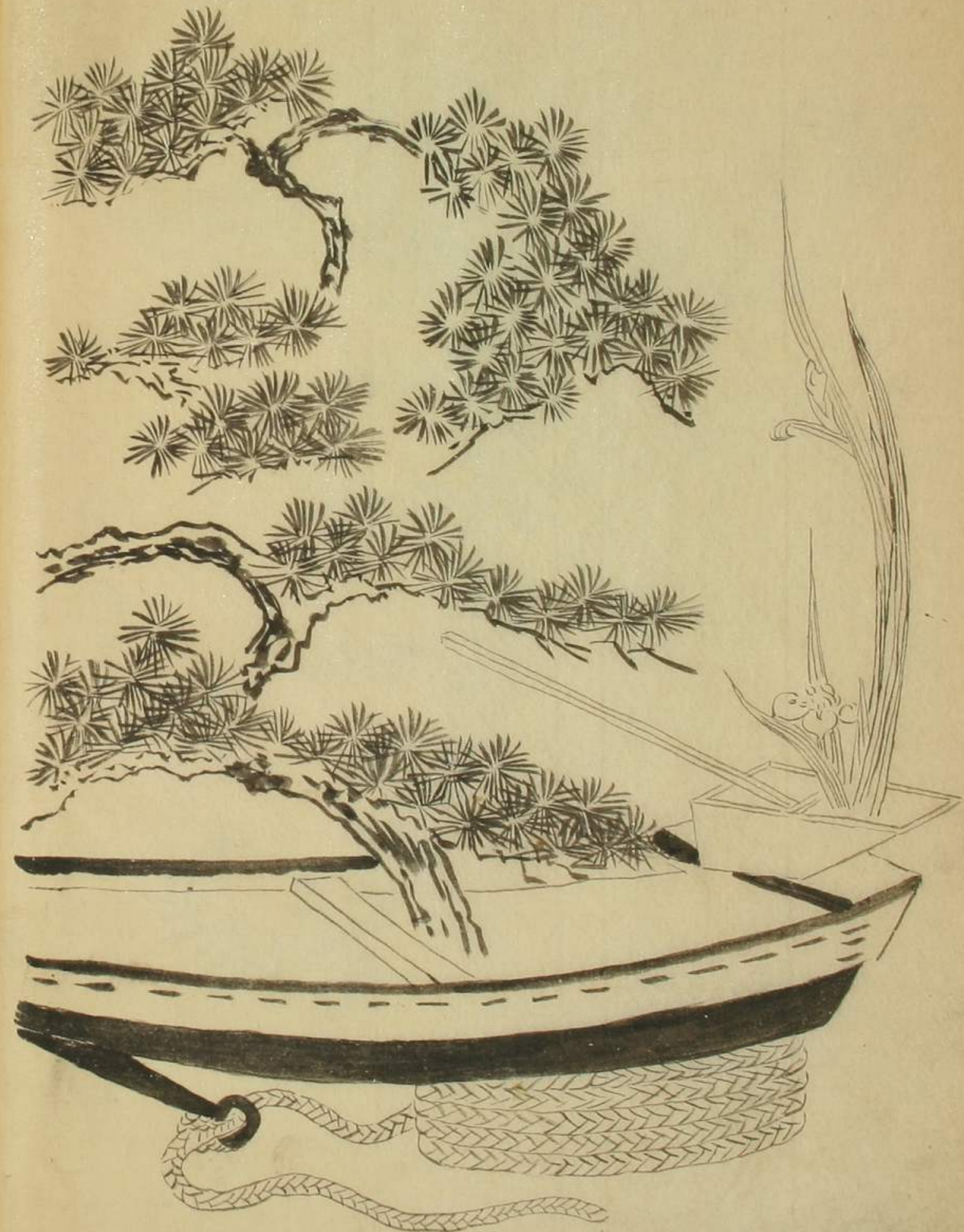


紫羅傘

儀
馴
松
杜
若



十





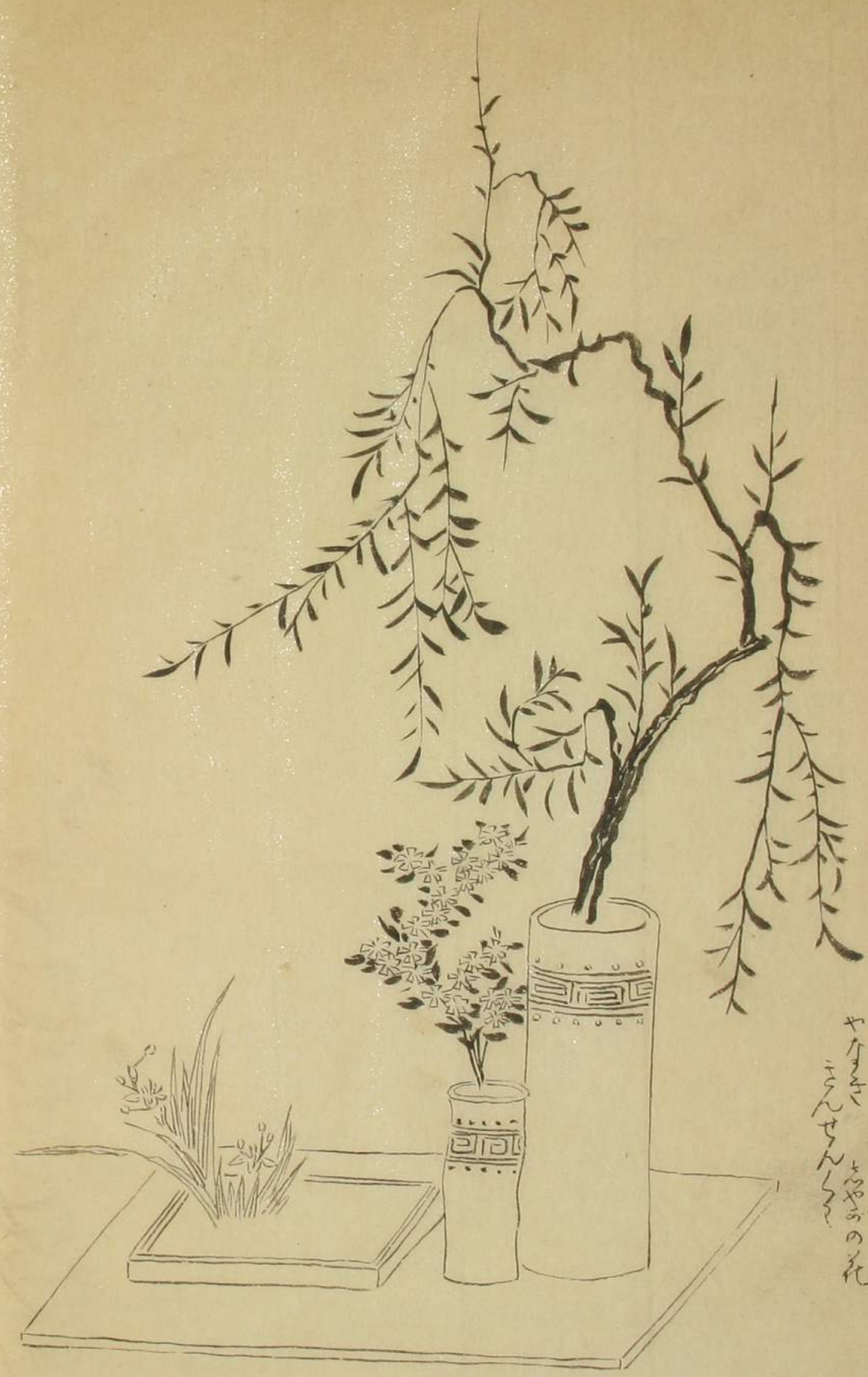
馬蘭 十七枚



竹筍
杜若
河骨

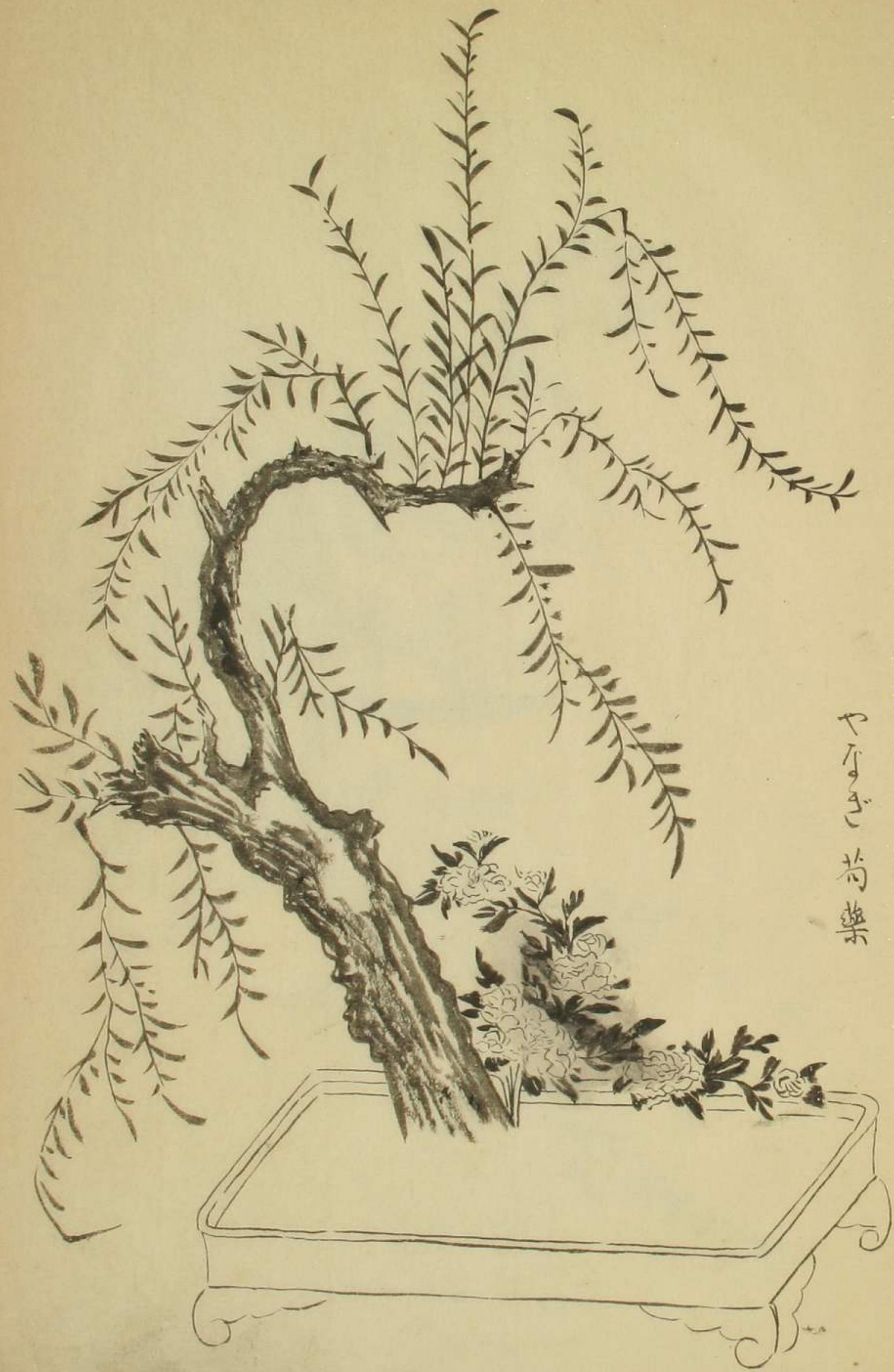


ほろろ花



ヤナギ
ハナ

x



ヤブキ 芍薬

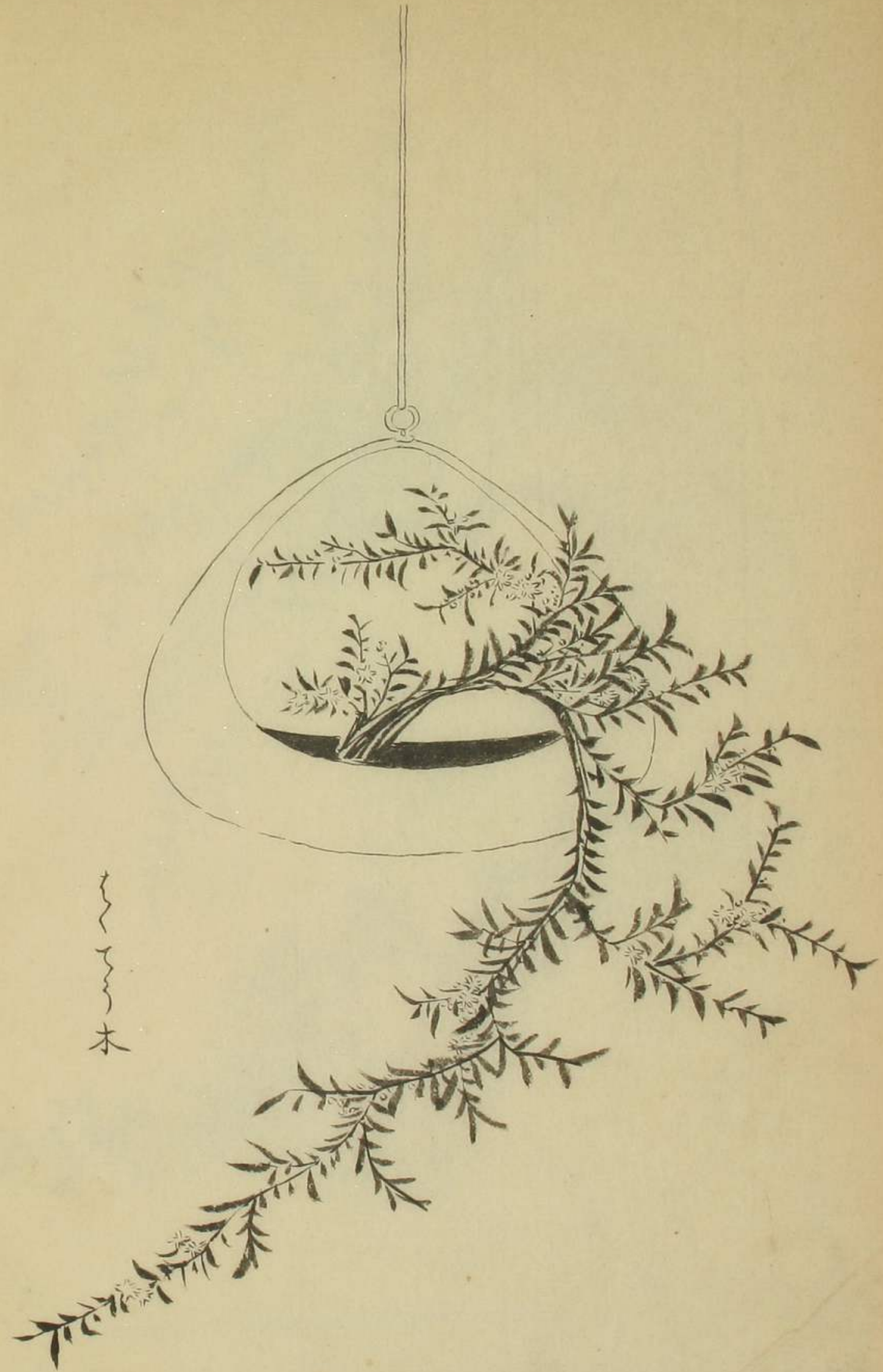


らんまぐさ

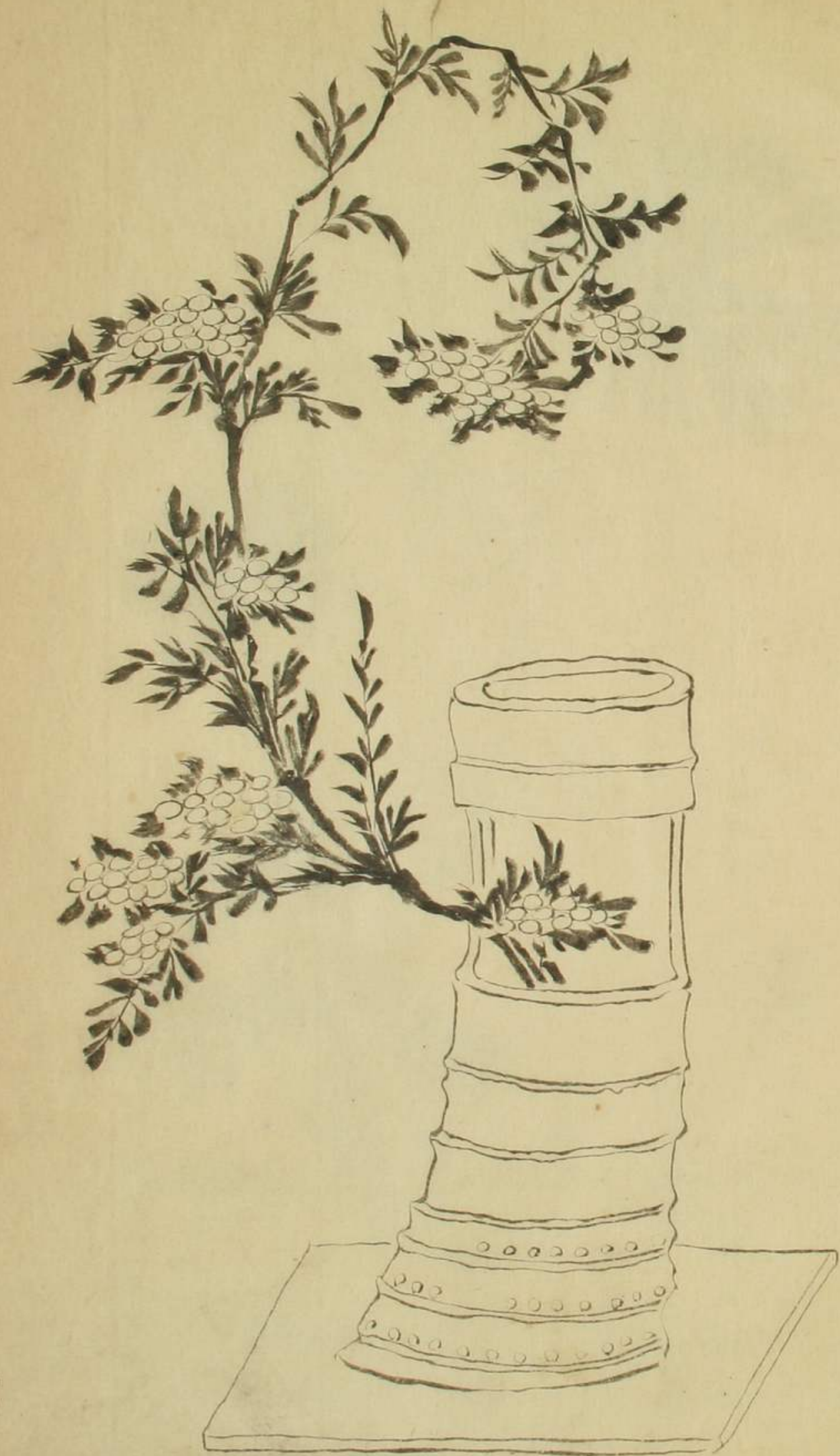
らんまぐさ



大き〜十一輪

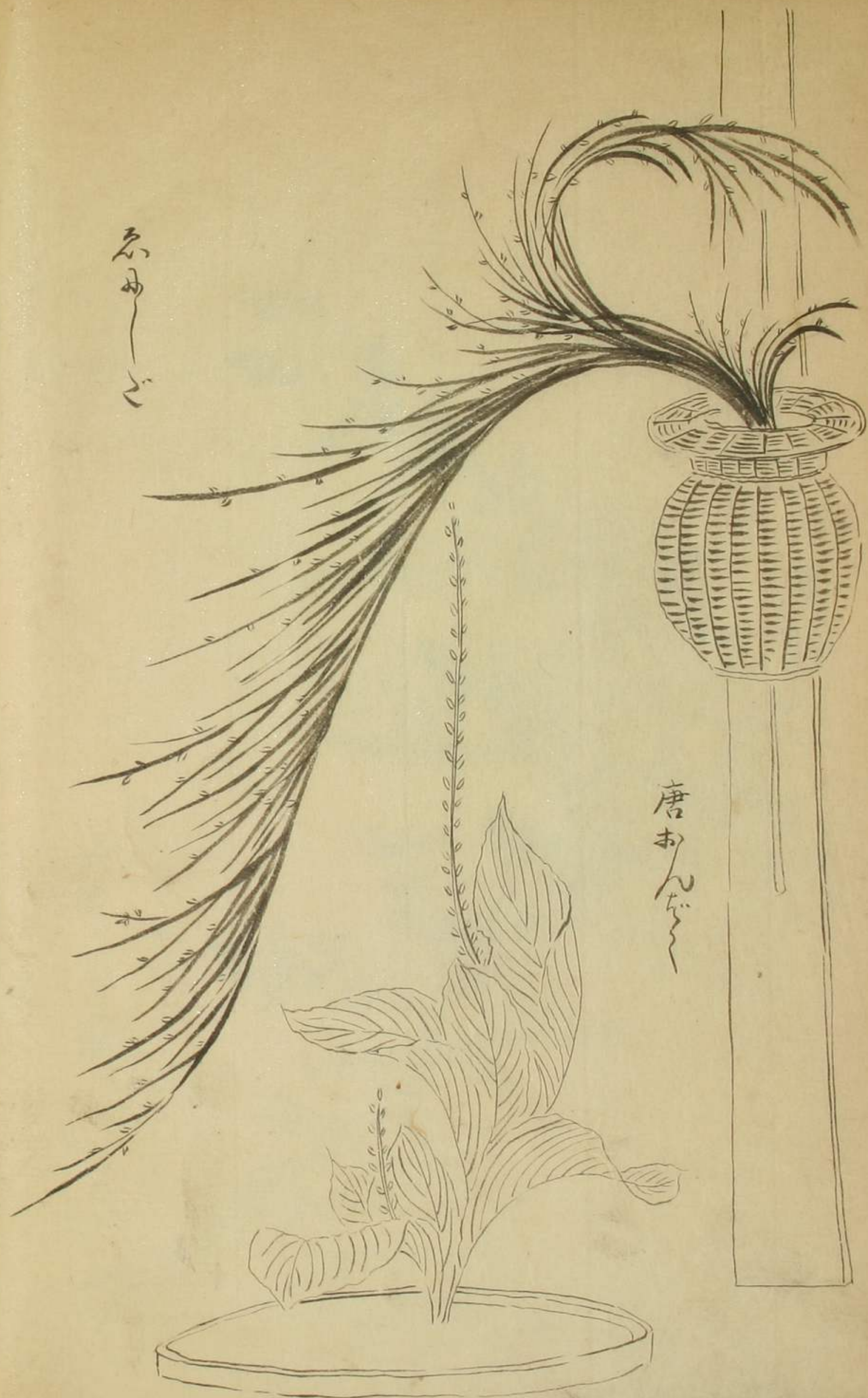


〜木



小手鉢

十



名物

唐おん



玉簪花五株



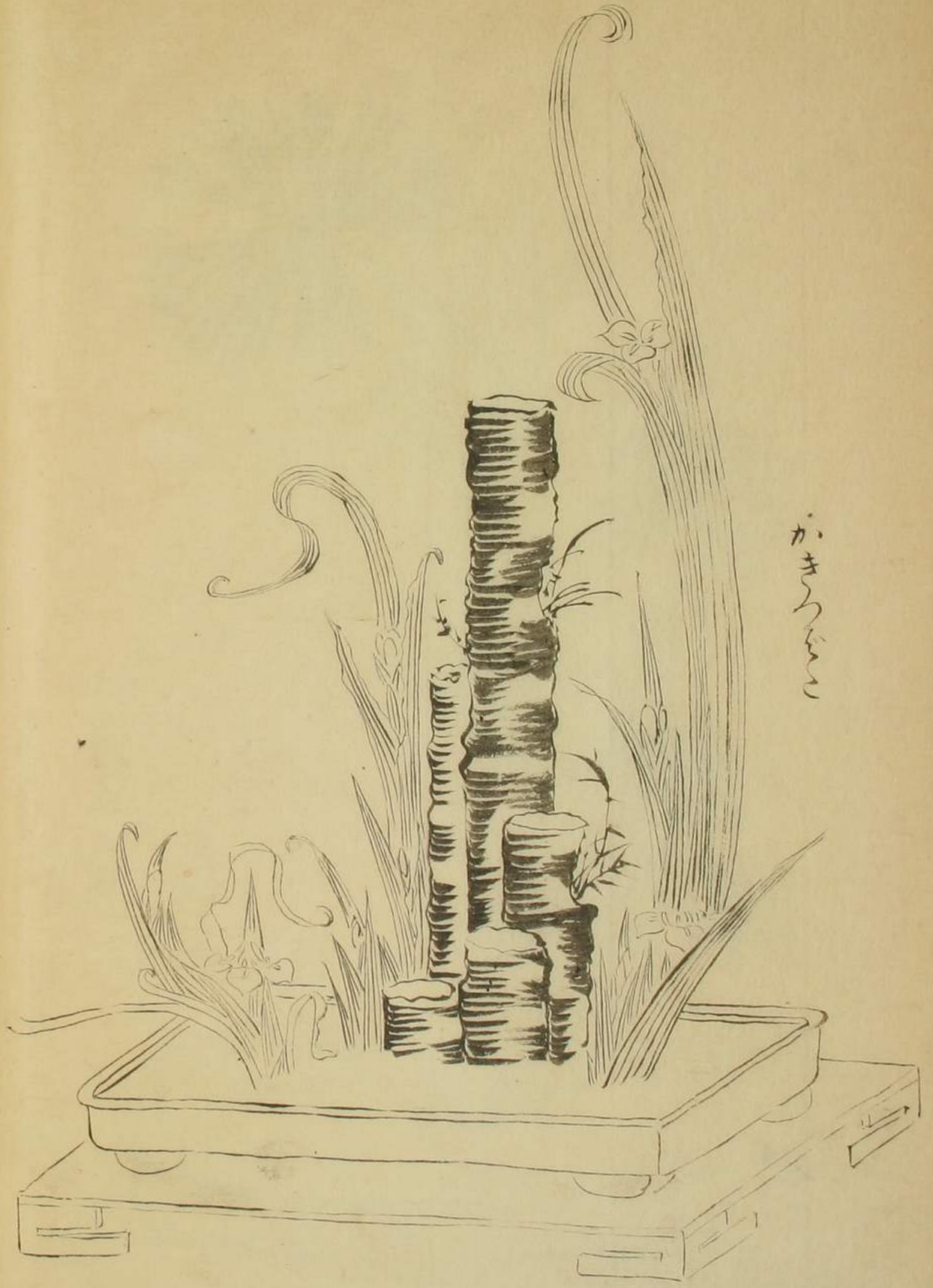
梭欄花



花せし



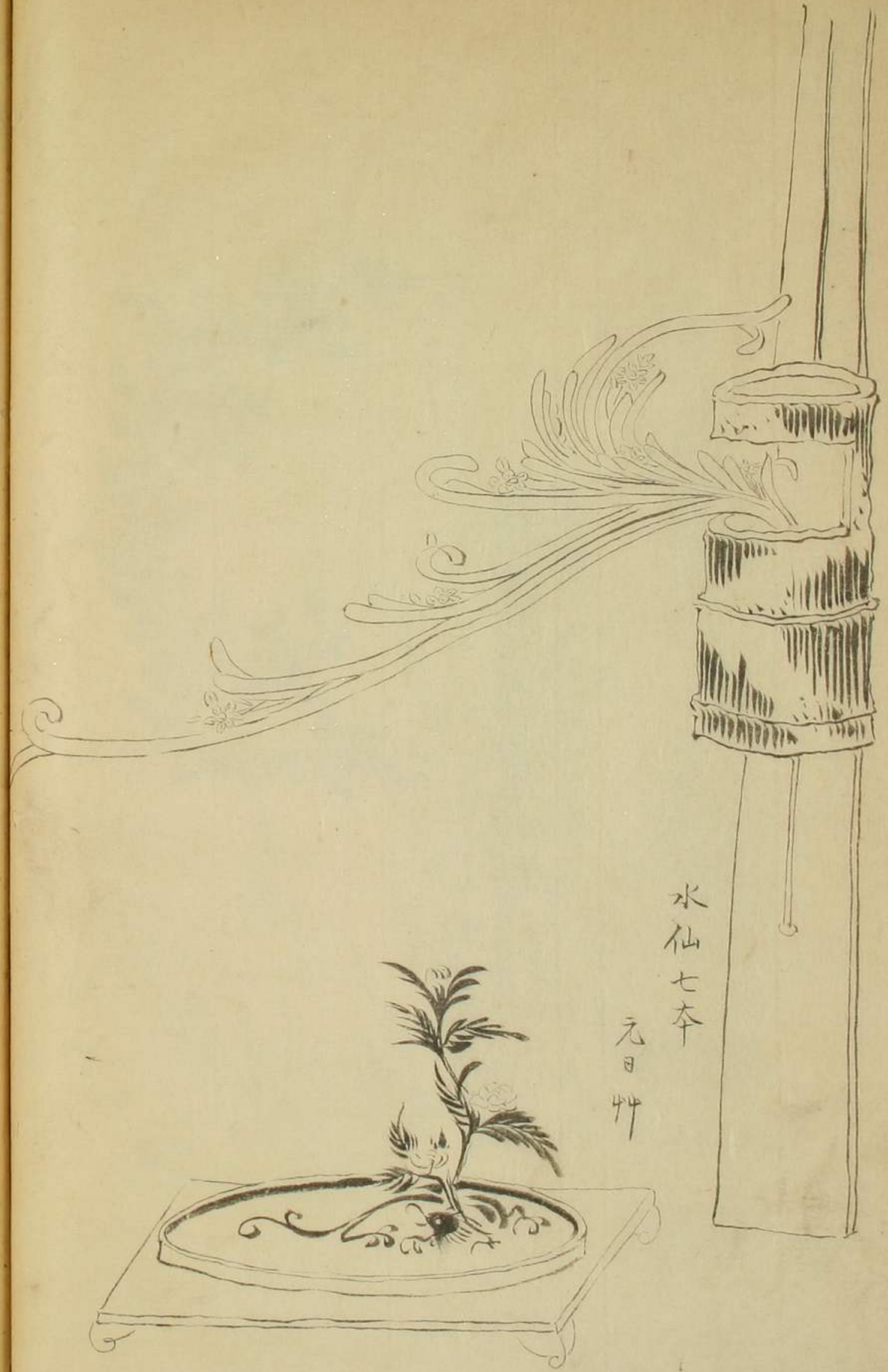
芍せし



かきり



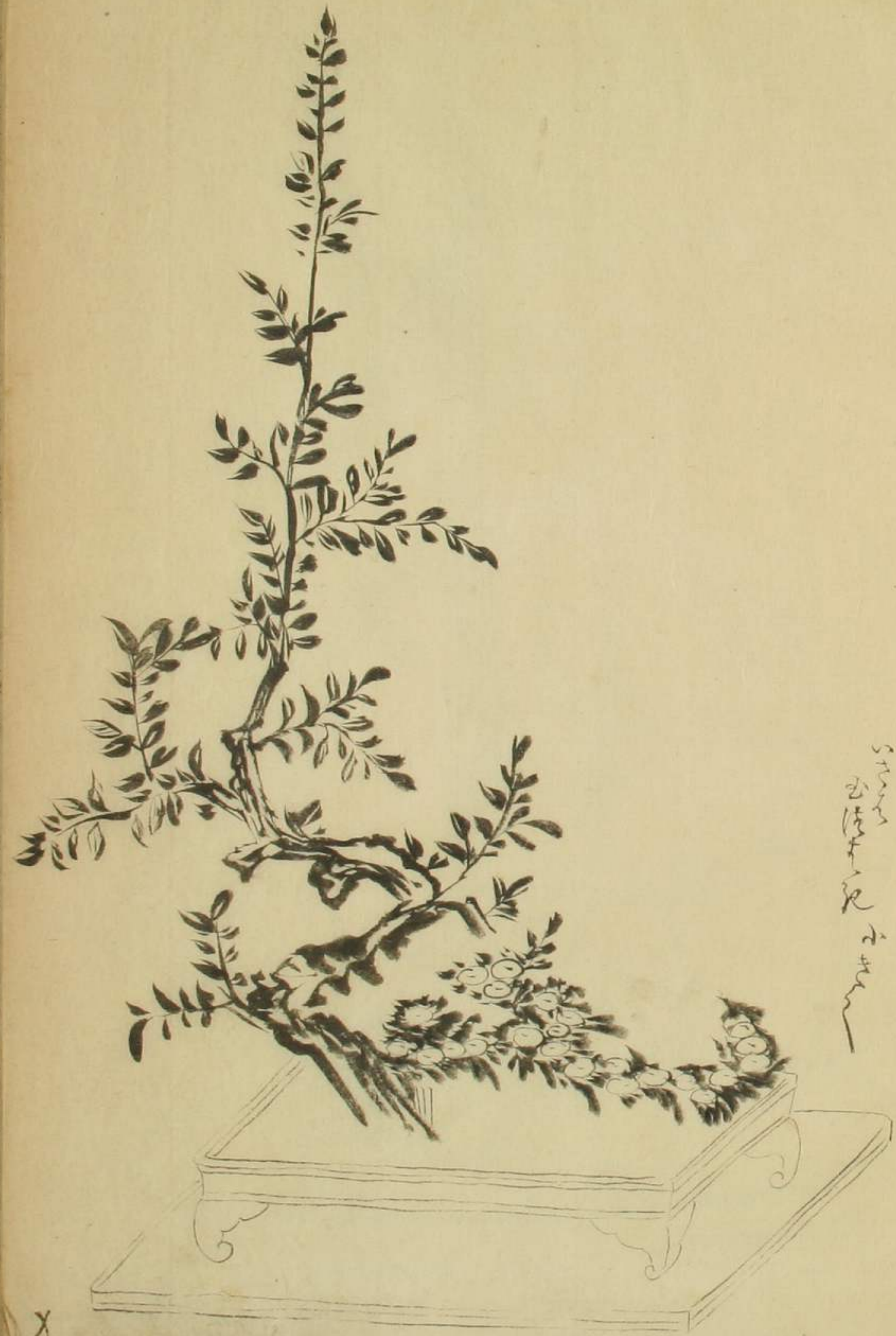
かきくさ



水仙七本

元日竹

*



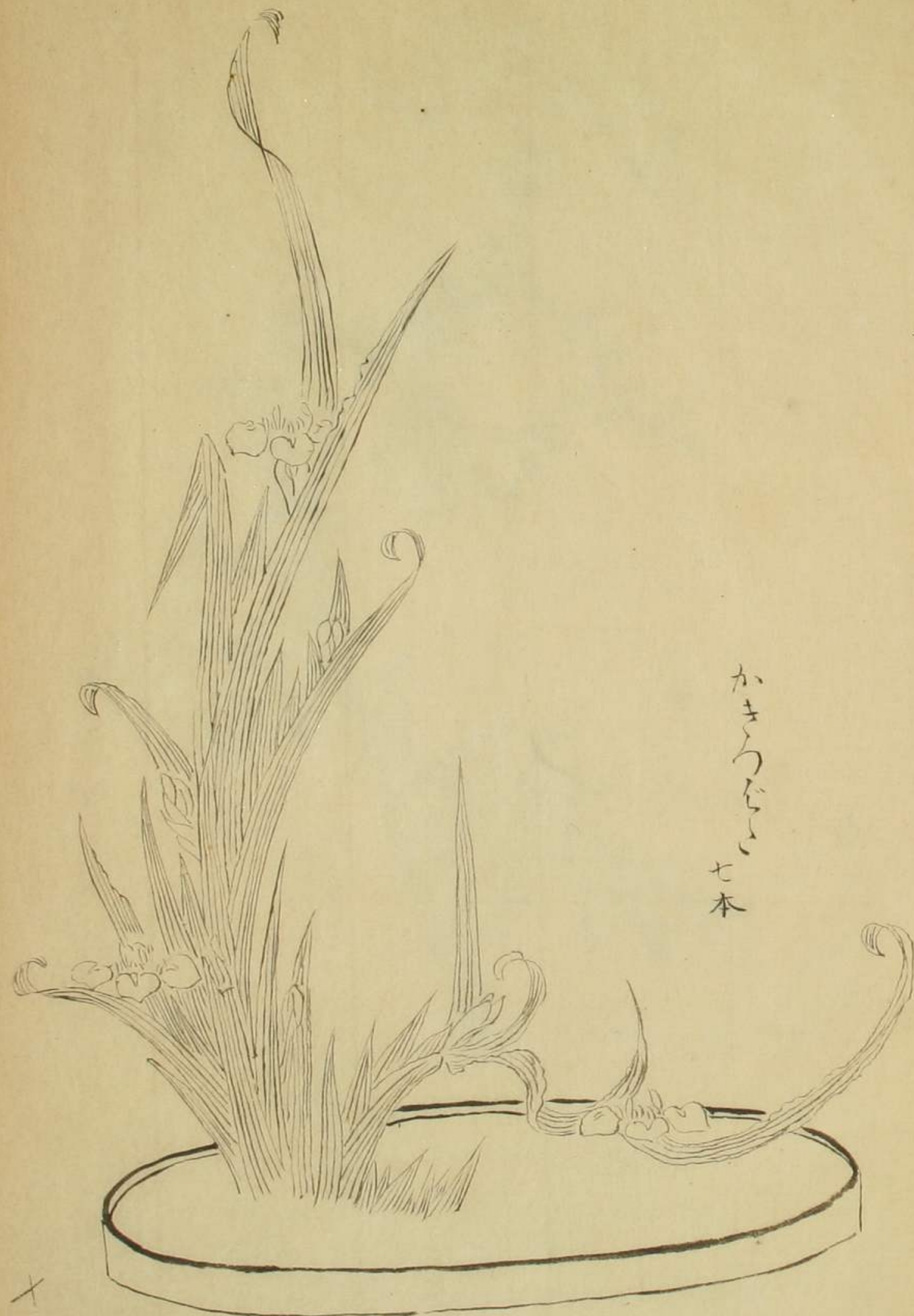
Stem
of the plant

X



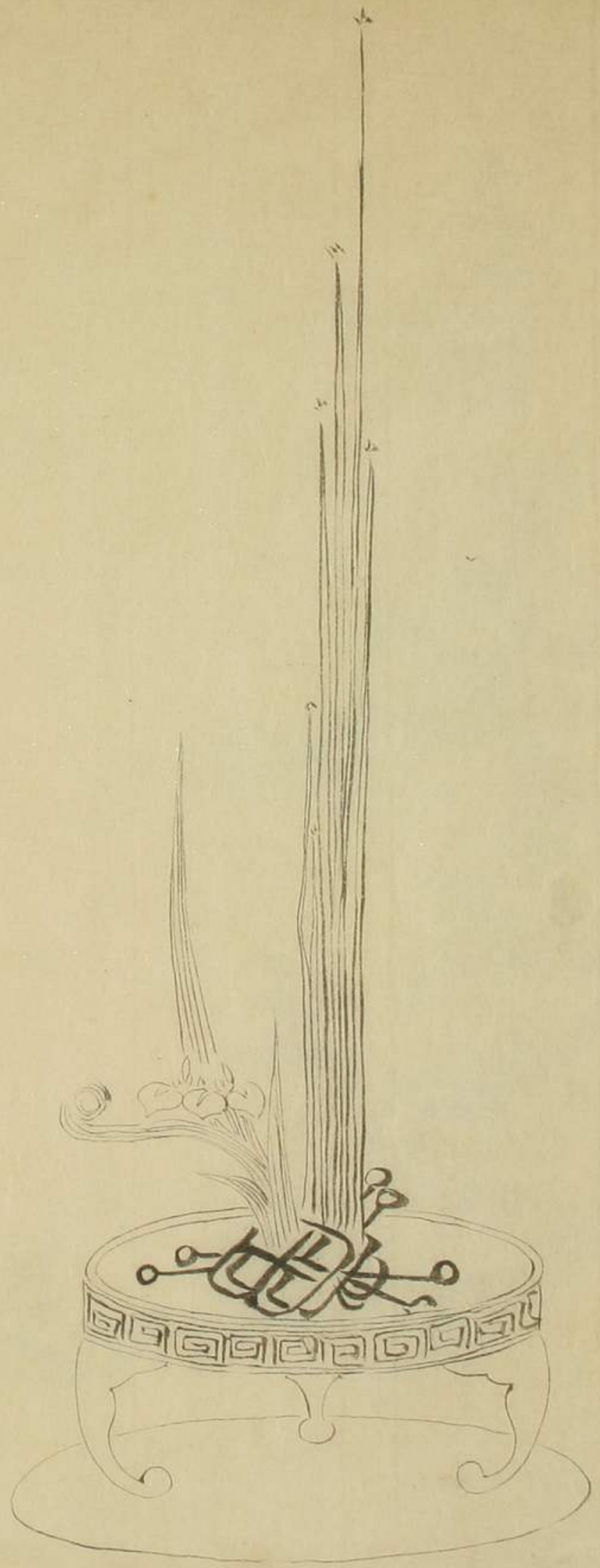
河
骨

X



かきうをい
七本

+



ふゆな
かきう

+



蓮花吐若

X



小手鉢

X



金
毛
の
ト
百合

x

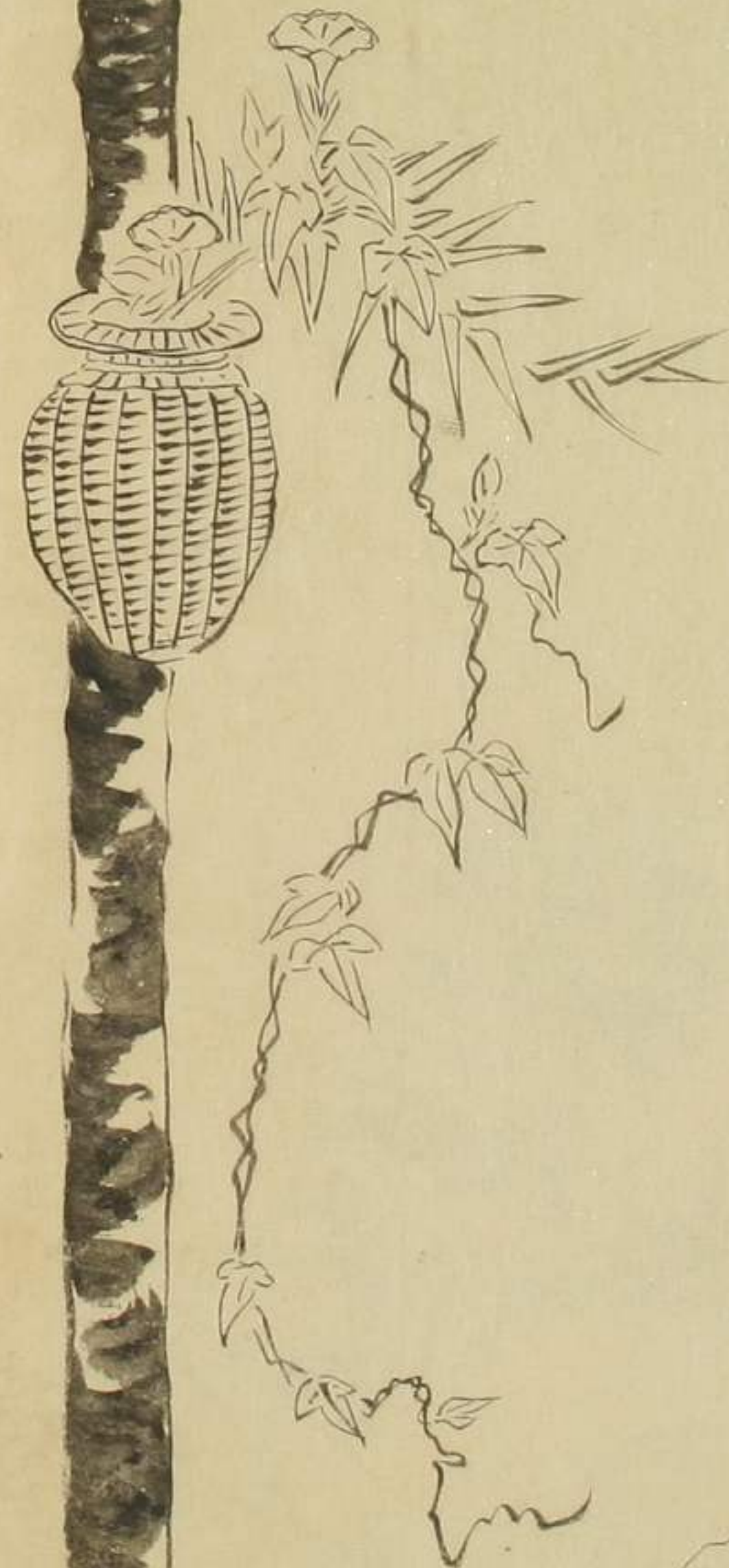


仙
人
九
輪

x



ゆきうら



あかい

*

